製品安全データシート

作成日　2010年8月26日
改定日

(第1版)

1.製品および会社情報

製品名	:	シャーシーブラック油性
製品コード	:	15457
会社名	:	株式会社コスモビューティー　(旧 株式会社モクケン)
住所	:	大阪市此花区島屋4丁目3番43号
担当部門	:	研究部
電話番号	:	(06) 6460-3120
FAX番号	:	(06) 6460-0052
推奨用途及び使用上の制限	:	自動車用シャーシー塗装剤 (自動車のシャーシー部分の防錆･黒色) 油性タイプ
整理番号	:	15457-01G01

2.危険有害性の要約

重要危険有害性および影響 : 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発のおそれがある。内容液は吸引したり皮膚と接触したり飲み込むと有害である。有機溶剤中毒を起こすおそれがある。高濃度の気体を吸入すると、弱い麻酔性のため一時的に神経系の機能低下を生じるおそれがある。又、液化ガスが皮膚に触れると凍傷を生じるおそれがある。

GHS分類

物理化学的危険性	:	引火性液体	区分2
	:	可燃性/引火性エアゾール	区分1
健康に対する有害性	:	急性毒性 (経口)	
	:	急性毒性 (経皮)	
	:	急性毒性 (吸入･蒸気)	
	:	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	:	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
	:	呼吸器感作性	
	:	皮膚感作性	
	:	生殖細胞変異原性	
	:	発がん性	区分2
	:	生殖毒性	区分1B
	:	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分1
	:	特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分1
	:	吸引性呼吸器有害性	区分2
環境に対する有害性	:	水生環境有害性 (急性)	区分3
	:	水生環境有害性 (慢性)	区分3

※ 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :
引火性の高い液体および蒸気
極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器＜呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓＞の障害
臓器＜肺＞の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気やめまいのおそれ
長期にわたる、または反復暴露により臓器＜呼吸器、神経系＞の障害
長期にわたる、または反復暴露により臓器＜血液、肺＞の障害のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き
〔安全対策〕 :
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。-禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
防爆型の電気機器/換気装置/照明装置を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
加圧容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

〔応急措置〕 :
皮膚（または髪）にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
火災の場合には、適切な消火剤を使用してください。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
暴露した場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
吐かせないこと。

〔保管〕：日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

〔廃棄〕：内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成および成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

組成および含有量

化学名または一般名	含有量（%）	PRTR法[1]	化審法[2]	安衛法[3]	CAS No.
アセトン	25	ー	(2)-542	No.17	67-64-1
酢酸*n*-ブチル	15	ー	(2)-731	No.181	123-86-4
キシレン	10	第1種80	(3)-60	No.136	1330-20-7
プロピレングリコールモノメチルエーテル	5.0	ー	(2)-404	No.496	107-98-2
カーボンブラック	3.0	ー	ー	No.130	1333-86-4
アクリル樹脂	非公開	ー	非公開	ー	非公開
LPG（噴射剤）	35 - 45	ー	(2)-3	ー	74-98-6
		ー	(2)-4	No.482	75-28-5
					106-97-8

(1　化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号（平成21年10月1日改正）
(2　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律　官報公示整理番号
(3　労働安全衛生法　第57条の2　通知対象物質 政令番号
ー：該当しない

4.応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように体を傾斜させる。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

水で口の中をすすぎ、直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：すべての汚染された衣服を直ちに脱ぐ。

皮膚と接触した場合は直ちに多量の水または石鹸水で洗う。

また溶剤が全身にかかった場合は、流水またはシャワー等で十分に洗い流す。

ガスの付着を受け、凍傷となった場合には衣服は脱がせず、そのまま多量の水または温水で洗い流す。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼球を傷つける可能性があるのでこすらないこと。

できるだけ速やかに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入が起きないように身体を傾斜させる。

事故の場合又は気分が悪いときは直ちに医師の手当てを受ける。

医師の手当てを受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。

水で口の中を洗う（意識がある場合のみ）。

嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

最も重要な兆候及び症状 ： 眼の発赤、痛み、灼熱感、皮膚の乾燥、吸入による咳、頭痛、疲労感、し眠及び飲み込みによる灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失など。

応急措置をする者の保護 ： 火気に注意する。
暴露防止のため保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項 ： 情報なし

5.火災時の措置

消火剤 ： 炭酸ガス、粉末、泡、砂。
散水又は噴霧水は大規模火災の際のみ利用する。

使ってはならない消火剤 ： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 ： 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
直ちにすべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
暴露防止のため、作業の際には適切な保護具を着用する。風上から作業する。密閉された場所に入る前に換気をする。

環境に対する注意事項 ： 漏出物が配水管または水路に入るのを防ぐ。
河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法 ： 漏れ発生時（噴出時）には風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全にガスを噴出させてから処置をする。
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を取り除く。
着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
蒸気発生の多い場所は噴霧注水で蒸気発生を抑制する。
漏出液を密閉式の容器に集め、残留液を砂又はその他不燃性のものに吸収させて安全な場所に移す。
大量の場合には土砂で流れを止め、安全な場所に導いて回収する。
大量の場合、散水は蒸気濃度を低下させる。しかし密閉された場所では燃焼を抑えるこができないおそれがある。
漏出液を下水や側溝等に流してはならない。
廃棄物は関係法規に従い処理すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 静電気対策のため、装置等は接地し、電機機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
静電気対策を行い、作業衣、作業靴等は通電性のものを使用する。
工具は火花防止型のものを使用する。
取り扱いの場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を表示する。

局所排気・全体換気 ： 換気のよい場所で取り扱うこと。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

注意事項 ： 使用時には、使用者にかからないように風の流れを背後から受けるようにすること。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
火炎に向かって噴射してはならない。
温度が高くなる場所に置くと、容器が破損するおそれがある。

安全取扱い注意事項 : 曝露防止のため、保護具を着用して作業を行う。
取り扱い後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。
作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
眼、顔面用保護具を着用する。
使用時には飲食及び喫煙しない。

保管

適切な保管条件 : 幼児の手の届かない所に置くこと。
直射日光を避け、風通しの良い所に保管する。
缶が錆びて内容物が漏出、又は噴出するおそれがある為、水回り等の湿気の高いところでの保管は避けること。
火気、熱源から遠ざけて保管すること。
40℃以上になる所には置かないこと。
酸化性物質、有機過酸化物等と同一場所に置かない。
保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
その他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めることに従う。

安全な容器包装材料 : 高圧ガス保安法等の法令で規定されている容器を使用する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱い設備は防爆型を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取り扱う。
取り扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を表示する。

管理濃度 : 750 ppm 【アセトン】
150 ppm 【酢酸*n*-ブチル】

粉じん管理濃度
2.9 mg/m^3 【カーボンブラック】

許容濃度

日本産業衛生学会 : 200 ppm 【アセトン】
470 mg/m^3 【アセトン】
100 ppm 【酢酸*n*-ブチル】
475 mg/m^3 【酢酸n-ブチル】
50 ppm 【キシレン】
217 mg/m^3 【キシレン】

ACGIH : TLV-TWA 500 ppm 【アセトン】
150 ppm 【酢酸n-ブチル】
100 ppm 【キシレン】
100 ppm 【プロピレングリコールモノメチルエーテル】
3.5 mg/m^3 【カーボンブラック】
TLV-STEL 750 ppm 【アセトン】
200 ppm 【酢酸n-ブチル】
150 ppm 【キシレン】
150 ppm 【プロピレングリコールモノメチルエーテル】

保護具

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、(密閉された場所では) 送気マスク。

手の保護具 : 保護手袋 (不浸透性 (ウレタン製等)) 。

眼の保護具 : 保護眼鏡 (ゴーグル型) 、保護面 (防災面) 。

皮膚及び身体の保護具 ： 帯電防止の長袖の保護衣、帯電防止安全靴。

9.物理的及び化学的性質

外観 ： 黒色液体
臭い ： 溶剤臭
pH（原液） ： 測定不可
融点・凝固点 ： データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 ： データなし
引火点 ： 21℃未満
自然発火温度 ： データなし
蒸気圧 ： データなし
蒸気密度 ： データなし
蒸発速度 ： データなし
比重（20℃） ： データなし
溶解性 ： 水に不溶。

10.安定性及び反応性

安定性 ： 40℃以上になると破裂の恐れがある。
危険有害反応可能性 ： 空気中で爆発性過酸化物を生成するおそれがある。
内溶液は、酸、酸化性化合物と混合すると発熱反応することがある。
次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し火災や爆発の危険をもたらす。
内溶液はある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件 ： 高温多湿な場所での保管及び火気の近くでの使用。
強酸化剤との接触を避ける。
混触危険物質 ： 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア。
危険有害な分解生成物 ： 一酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがある。
その他 ： 蒸気及びガスは引火して爆発するおそれがある。

11.有害性情報

急性毒性 ： LD50（ラット, 経口） 5,800 mg/kg［アセトン］
10,768 mg/kg［酢酸*n*-ブチル］
4,300 mg/kg［キシレン］
6,600 mg/kg［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
＞15,400 mg/kg［カーボンブラック］
LD50（マウス, 経口） 3 g/kg［アセトン］
6 g/kg［酢酸*n*-ブチル］
11,700 mg/kg［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
LDLo（マウス, 経口） 2,119 mg/kg［キシレン］
LDLo(ラビット, 経皮) 20 ml/kg［アセトン］
＞17,600mg/kg［酢酸*n*-ブチル］
LD50(ラビット, 経皮) ＞1,700 mg/kg［キシレン］
13 g/kg［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
＞3 g/kg［カーボンブラック］
LC50（ラット, 吸入） 50,100 mg/m^3/8H［アセトン］
390 ppm/4H［酢酸n-ブチル］

		5,000 ppm/4H［キシレン］ 10,000 ppm/5H［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
皮膚腐食性/刺激性	：	ラビット 395 mg open；MILD（皮膚）［アセトン］ 500 mg/24H；MILD（皮膚）［アセトン］ 500 mg/24H；MILD（皮膚）［酢酸n-ブチル］ 500 mg/24H；MODERATE（皮膚）［キシレン］ 500 mg open；MILD（皮膚）［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
眼に対する重篤な損傷/刺激性	：	ラビット 20 mg/24H；MODERATE（眼）［アセトン］ 100 mg；MODERATE（眼）［酢酸n-ブチル］ 5 mg/24H；SEVERE（眼）［キシレン］ 500 mg/24H；MILD（眼）［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	染色体異常；ハムスター（生体外）；陽性［アセトン］
発がん性	：	IARC；グループ2B［カーボンブラック］ IARC；グループ3［キシレン］ ACGIH；A4［アセトン］［カーボンブラック］［キシレン］
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器／全身毒性－単回曝露	：	データなし
特定標的臓器／全身毒性－反復曝露	：	データなし
吸引性呼吸器有害性	：	データなし

12.環境影響情報

生態毒性	：	LC50（淡水魚，96hrs） 580～8,120 ppm［アセトン］ LC50（海産魚，96hrs） 11,000 ppm［アセトン］ LC50（ファットヘッドミノー，96hrs） 17～19 mg/L［酢酸*n*-ブチル］ LC50（サンフィッシュ，96hrs） 100 mg/L［酢酸*n*-ブチル］
残留性／分解性	：	39%（by BOD）［キシレン］ 90%（by BOD）［プロピレングリコールモノメチルエーテル］
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の蓄積性	：	情報なし

13.廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託すること。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類	：	クラス2.1：引火性高圧ガス
国連番号	：	1950
品名（国連輸送名）	：	エアゾール（容積が1L以下のもの）

国内規制

陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	：	船舶安全法に定められた輸送方法に従う。

航空輸送	：	航空法に定められた輸送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	：	運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (平成21年10月1日改正)	：	第1種指定化学物質　政令番号　第80号　【キシレン】10%
労働安全衛生法		
危険物	：	施行令別表第1危険物（引火性の物） 施行令別表第1危険物（可燃性のガス）
有機則	：	施行令別表第6の2 有機溶剤（第2種有機溶剤） 【アセトン】【キシレン】【酢酸ブチル】
表示物質	：	【アセトン】【キシレン】【酢酸ノルマル-ブチル】
第57条の2第1項 通知対象物	：	No.17【アセトン】、No.130【カーボンブラック】、No.136【キシレン】、No.181【酢酸ブチル】、No.482【ブタン】、No.496【プロピレングリコールモノメチルエーテル】
毒劇物取締法	：	非該当
高圧ガス保安法	：	エアゾール（適用除外項目対象）
消防法	：	第4類第1石油類（非水溶性）
船舶安全法	：	高圧ガス、引火性液体
航空法	：	高圧ガス、引火性液体

16.その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

記載内容の問合せ先　：　株式会社コスモビューティー　研究部
電話番号 (06) 6460-3120
ＦＡＸ番号 (06) 6460-0052